

6/3 event 空手道選手権大会

238人が熱戦を展開

角館中学校体育館で第8回オープントーナメント武心会実戦空手道選手権大会兼第6回東北ウエイト制ジュニア実戦空手道選手権大会（実戦空手道武心会主催）が6月3日に開催されました。

昨年に引き続き東日本大震災チャリティー大会と銘打って行われたこの大会には、幼児の部から一般上級（無差別級）まで238人の選手が東北各県や東京都から参加しました。会場では日頃の鍛錬の成果を競い合いあう選手たちに、父兄や仲間から大きな声援が送られました。

激しい試合に、大きな声援が送られました。



大会成績（武心会角館選手） 敬称略

第6回東北ウエイト制ジュニア空手道選手権大会

小学1・2年女子 敢闘賞 千葉 麗花（神代小）  
 小学3年男子軽量級 第3位 高橋 慶多（西明寺小）  
 小学4年男子軽量級 準優勝 畠山 幸輝（角館小）  
 小学6年男子重量級 優勝 田川 礼（角館小）  
 小学6年男子重量級 準優勝 加藤 祐樹（角館小）

第8回オープントーナメント武心会空手道選手権大会

中学女子軽量級 準優勝 湯澤 瑠奈（角館中）  
 中学男子軽量級 優勝 木元 美禪（角館中）  
 中学男子重量級 準優勝 畠山 勇輝（角館中）  
 高校・一般女子 優勝 湯澤 花梨奈（角館高）  
 一般上級無差別級 敢闘賞 田川 悟（角館町雲然）

6/8~10 event 第77回日本温泉気候物理医学会

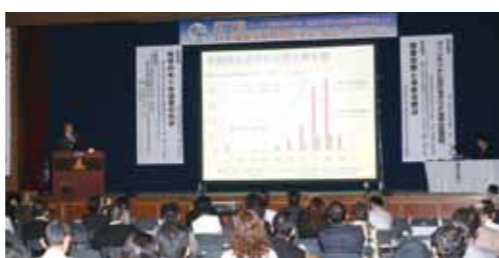
総会・学術集会開催

6月8日、9日に生保内小学校を主会場に「第77回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会」が開催されました。

臨床・基礎・公衆衛生医学者、技師、鍼灸師、理学者、社会学者、関連領域の従事者からなる伝統ある学会ということもあり「地球のめぐみー温泉の安全な活用を科学するー」をテーマに開催された今回の総会・学術集会へは、全国から大勢の関係者が会場に訪れました。

期間中は温泉、気候、物理医学を通じた、疾病治療・予防、健康保持・増進についてシンポジウム、パネルディスカッション、研究成果展示が行われました。

また、6月10日には田沢湖総合開発センターで日本温泉気候物理医学会と仙北市医療協議会が主催する「地球のめぐみ、温泉の活用を目指して」と題した市民公開講座も行われ、活発な議論が繰り上げられました。



大勢の関係者が訪れた日本温泉気候物理医学会総会・学術集会



大湯リハビリ温泉病院理事長 小笠原真澄先生の「温泉を健康のために」、門脇市長の「温泉を活かした地域づくり」の講演のあと、西明寺診療所長の市川晋一先生のコーディネートでパネルディスカッションが行われました。

6/10 event 第26回東京田沢湖会総会

思い出話に花が咲く

6月10日、ルポール麴町（東京都千代田区）を会場に、第26回東京田沢湖会総会が開催され、約100人が出席しました。

総会では、平鹿会長が「更なる会員相互の親睦を図るため、若者の加入を促進し、ふるさとのために活動していきたい」と話しました。

総会に引き続いて行われた懇親会では、出席者が互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、ふるさと秋田の民謡にあわせて踊り出すなど、会場は大いに盛り上がりました。

また、仙北市産の野菜や山菜、漬け物やおやきなどが例年どおり販売され、ふるさとの味を懐かしむ方々により即完売となりました。



会場には約100人が訪れ、ふるさとの思い出話などで大いに盛り上がりました。

6/3 event 秋田県民体育大会カヌー競技

生保内カヌー競技場で開催

平成24年度第63回秋田県民体育大会兼ノースジャパンカップ大会が6月3日に生保内カヌー競技場で開催されました。

今回の大会には地元カヌーチーム「ELK JAPAN」の選手をはじめ、青森県、岩手県、山形県からも選手が参加しました。大会はコース上に指定されたポールを通るスラローム競技、コースを一気に下るワイルドウォーター競技など、2種目5競技を行いました。

白波の立つ急流やよどみのあるコースを、選手たちは手に持つパドルを巧に操りながらゴールを目指していました。



急流に挑む選手

6/12 event 仙北市交流事業検討委員会

サッカー応援通じて交流広げる

6月12日に行われたFIFAワールドカップブラジルアジア地区最終予選「オーストラリア×日本」の試合に合わせ、グランデールガーデンを会場に、サッカー日本代表応援交流会が開催されました。

これは仙北市企業等連絡協議会と仙北市NPO法人連絡協議会が共同で立ち上げた仙北市交流事業検討委員会（田中裕雅代表）が主催したもので、仙北市内外の男女合計約120人が参加しました。

参加者は「仙北市内でこれだけの男女が集まるイベントがあるとは驚いた。交流の輪が広がって楽しかった」などと話し、田中代表は「仙北市を活気づ



サッカー独特の応援と歓声で会場は熱気に包まれました。

け、若者の出会いの場を作りたいとの思いで実施した。今後も盛り上がるイベントを検討していきたい」と今後の意欲を語りました。